

令和5年度 第1回会議の位置づけ

■各種作業と工程

	基礎調査 / 計画書作成	市民参加	会議での検討	
令和4年度	8月	・資料収集 統計データ等、みどりに関連するデータを収集・整理	・調査手法の検討・調整 既往調査の把握・整理と、調査対象や手法の検討	
	9月	・緑被調査 航空写真の判読による緑被分布の確認 ・公園緑地現況調査 法令等で定められているみどりの量や分布の確認	・調査票の検討 アンケート調査票案の検討	
	10月	・現行計画の検証 庁内担当部署による施策の実施状況の確認・評価作業	・WEBアンケート ・小中学生アンケート アンケートの調査票の作成	計画の諮問 第1回審議会 ● 審議会の役割・概要、みどりの基本計画についての認識の共有 ● アンケート案の検討
	11月	〃	・アンケートの回収集計	
	12月	〃		第2回審議会 ● 現況の共有、課題の整理 ● 改定に向けた視点について
	1月	・その他調査 計画の目標数値(KPI)に関する検討・データ作成等	・アンケート結果のとりまとめ	
	2月	・基礎調査のとりまとめ データや市民意向等をもとにしたみどりの課題整理と、基本計画の見直しの方針の作成		第3回審議会 ● 課題の整理 ● 見直しの方針の検討
	3月	〃		
令和5年度	4月	・計画の検討 目標、方針、施策などの検討		
	5月			第1回審議会 ● 目標、方針、施策の方向性の検討
	6月			
	7月			
	8月			第2回審議会 ● 施策の検討
	9月			
	10月			
	11月	・素案の作成		第3回審議会 ● パブリックコメント案の検討
	12月		・パブリックコメント	
	1月			
2月			第4回審議会 ● 素案の検討	
3月	・計画策定		計画の答申	

現行計画の目次

目次	
序章. みどりの基本計画とは	2
序-1. みどりの基本計画とは	2
序-2. 西東京市における取組み	2
序-3. 西東京市におけるみどりの基本計画の位置づけ	2
序-4. 西東京市みどりの基本計画の目標年次	4
序-5. 西東京市みどりの基本計画の見直しについて	4
第1章. 都市のみどりをめぐる近年の動向	6
第2章. 西東京市のみどりに関わる現況と課題	10
2-1. みどりの体系	10
2-2. 西東京市のみどりに関する現況	11
2-3. みどりに関わる課題	18
第3章. みどりの将来像	22
3-1. みどりの将来像	22
3-2. みどりのまちづくりの目標	23
3-3. みどりの将来都市構造	24
3-4. 数値目標	27
第4章. みどりのまちづくりの方針	30
4-1. みどりのまちづくり方針の体系	31
4-2. みどりのまちづくりの基本的考え方	33
4-3. みどりの機能からみたまちづくり方針	34
4-4. みどりのまちづくりの施策の方向	40
第5章. 地域別のみどりのまちづくり方針	46
5-1. 地域区分	46
5-2. 地域別のみどりのまちづくり方針	48
第6章. 緑化重点地区と緑化重点スポット	70
第7章. 計画の実現に向けて	76
参考資料. 計画策定の経緯	80
用語解説	82

主に  
R4年度会議  
の内容

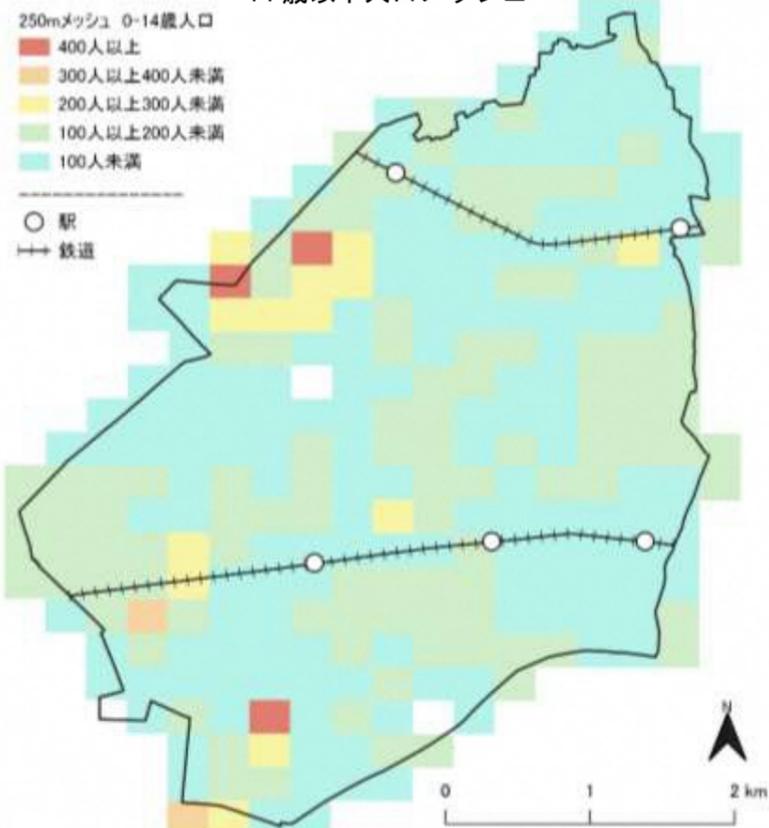
主に  
第1回  
会議の内容

主に  
第1回  
会議の内容

主に  
第1回  
会議の内容

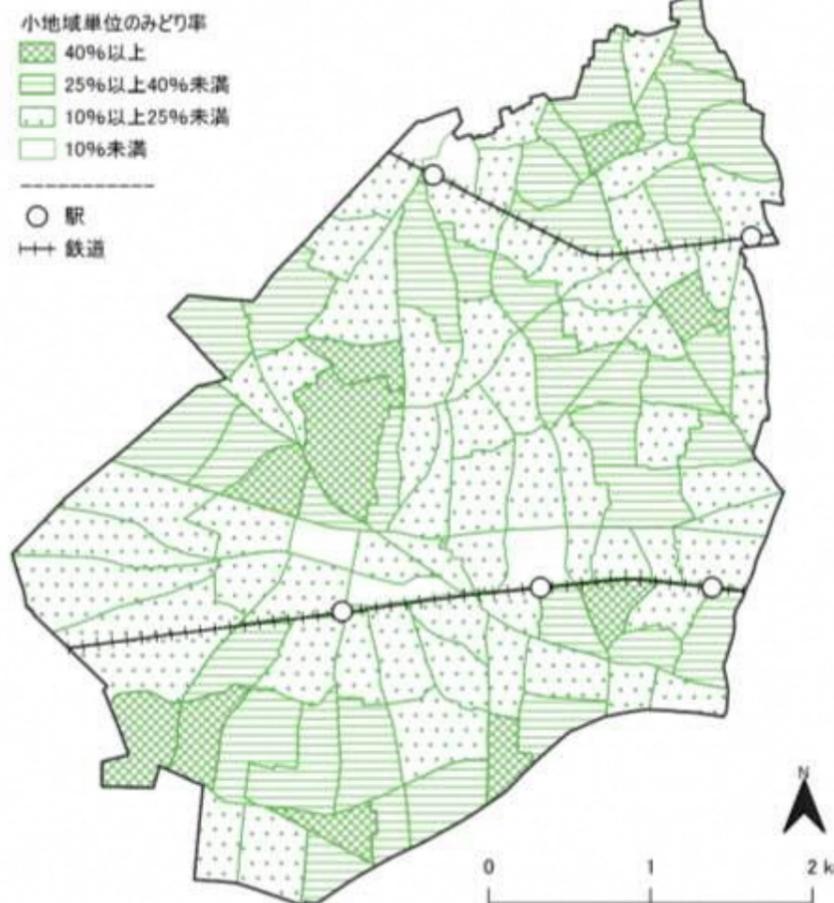
みどりの現況 補足資料

14歳以下人口メッシュ



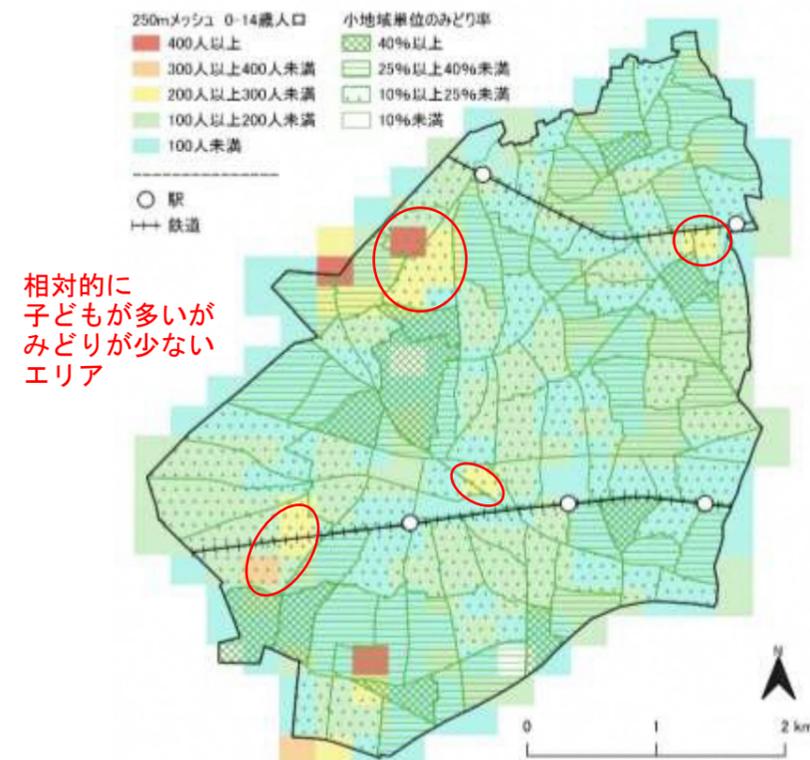
令和2年度国勢調査

小地域別みどり率



令和4年度緑被判読調査

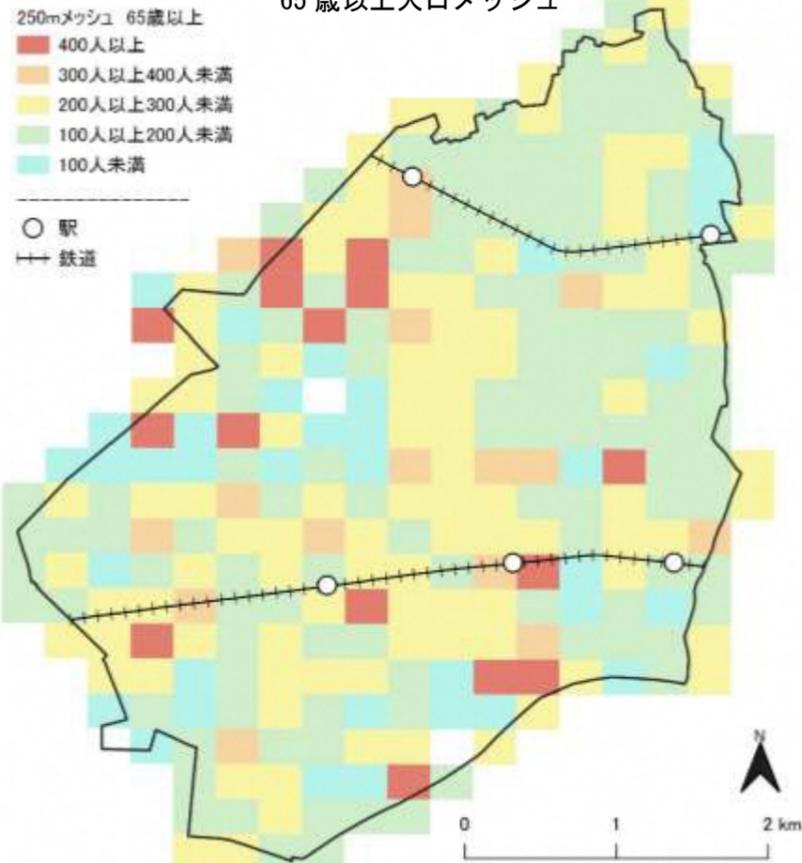
14歳以下人口メッシュ × 小地域別みどり率



相対的に  
子どもが多いが  
みどりが少ない  
エリア

令和2年度国勢調査  
令和4年度緑被判読調査

65歳以上人口メッシュ



令和2年度国勢調査

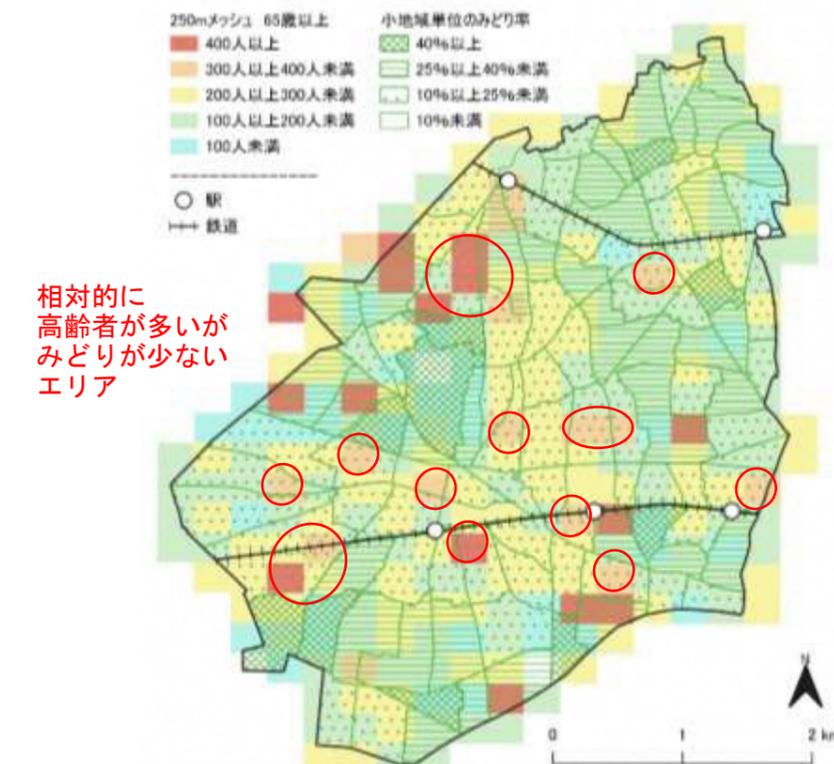
みどり率の高い地域

町丁目名	みどり率
緑町一丁目	78.7%
東伏見一丁目	63.0%
柳沢四丁目	56.8%
西原町二丁目	53.6%
緑町三丁目	51.3%
北町一丁目	45.0%
東町一丁目	44.4%
向台町五丁目	44.2%
新町三丁目	43.6%
向台町六丁目	41.8%

みどり率の低い地域

町丁目名	みどり率
ひばりが丘北三丁目	7.0%
田無町二丁目	8.1%
田無町五丁目	8.2%
ひばりが丘北四丁目	8.3%
保谷町三丁目	9.8%
田無町一丁目	10.4%
保谷町二丁目	11.0%
東町二丁目	12.4%
富士町四丁目	12.9%
田無町四丁目	13.3%

65歳以上人口メッシュ × 小地域別みどり率



相対的に  
高齢者が多いが  
みどりが少ない  
エリア

令和2年度国勢調査  
令和4年度緑被判読調査

# みどりのまちづくりの将来像を考える上での背景

## 1 西東京市の特徴的なみどりとは？

- 約 20 万人の市民が暮らしている本市の土台である自然環境に人々が関わってきたことで、屋敷林や雑木林、農地、公園などに表れる特徴的なみどりが存在している。

### ■今日の西東京市のみどりの土台

#### [まちの成り立ち]

- 水の豊かな旧保谷市域では畑作農業を中心としてまちが形成
- 水の乏しかった旧田無市域では街道沿いの田無宿を拠点とした近世村落を中心にまちが形成

#### [本市の地形]

- 武蔵野台地の中央部の台地部に位置する
- 台地内の豊かな地下水を水源とする白子川や石神井川に形成された谷地



出典：生きものから見た東京の自然－東京の環境指標種 100 (編集協力東京都環境局)

この土台のもと、暮らしの中で様々なみどりが育まれてきた

### ■暮らしと自然の関わりの中で育まれた西東京市のみどり

暮らしの中で生まれた①～④に示すような特徴的な多様なみどりが、ひとつひとつに愛され、大切に育まれている。

#### ①武蔵野の人々の暮らしが生んだ原風景のみどり

“武蔵野の原風景”である屋敷林や雑木林と農地の景観が形成され、『下保谷四丁目特別緑地保全地区』をはじめ、現在も市内の各所に武蔵野の原風景となる緑地が残っている。



下保谷四丁目特別緑地保全地区 (市 HP)

#### ②暮らしの軌跡を残すみどり

玉川上水沿いの『小金井サクラ』や社寺林など古くから愛される緑地や『下野谷遺跡』などのかつての暮らしを表す緑地空間が残されている。



下野谷遺跡公園 (市 HP)

#### ③くらすための生業のみどり

市域の9%が農地であり、市内での貴重な緑地空間となっている。また、農業体験農園や市民農園として、市民が身近な生活の中でみどりに親しむことができる場ともなっている。



市内市民農園 (市 HP)

#### ④暮らしを豊かにする新たなみどり

首都東京のベッドタウンとして『ひばりが丘団地』などの宅地開発、現在も進む駅周辺の開発に伴い、住環境をより豊かに、快適にするためのみどりが創出されている。



ひばりが丘団地 (UR 都市機構 HP)

## 2 市民の「みどり」への期待と想い

- アンケート結果では、6割近い市民が「本市のみどりは多い」と感じており、子どもたちも8割以上が市のみどりの多さを感じており、西東京市の人々は、みどりに対する意識は強い。
- みどりへの期待として「防災」や「まちの魅力向上」につながる施策に対するところが大きく、公園の活用についてはさまざまなニーズがあり、過去のワークショップや昨年度実施したWEBアンケートでも多くのアイデアが挙がっている。

### ■まちのイメージ

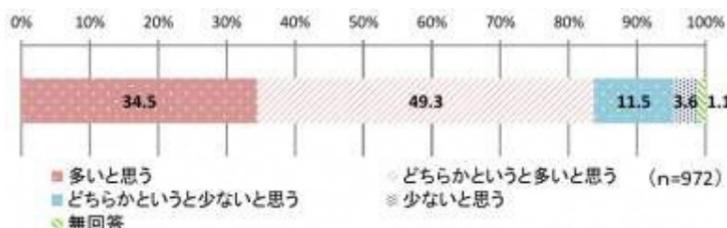
イメージ像	現在のまちのイメージ	
	回答割合	H29 調査比較
まちなかの自然(公園、農地等)が豊かである	58.0%	約4ポイント増加↑

### ■施策別の満足度・重要度

項目	CS 分析
集中豪雨等のいっ水対策	A：重点改善
自然や観光資源などによるまちの魅力の向上	B：改善
公園・緑地などのみどりの保全・活用	C：重点維持
公園の整備や道路・公共施設の緑化推進	
農地・屋敷林などの保全・活用	D：維持
環境学習の場や機会の提供	
地産地消の促進などによる農業の振興	
ボランティアや市民活動団体の育成・支援活動への参加促進	

令和3年度 西東京市市民意識調査

### ■西東京市のみどりの量について



西東京市みどりに関する子どもアンケート調査報告書 (令和4年度)

### ■みどりの使い方に対する意見

#### ○西東京市公園実態調査報告書(平成28年度)

公園の課題として、施設・環境の不足と利活用における制約などが挙げられている。解決のために市民参画の推進や民間企業による管理・活用のあり方などが提案されている。

#### ○西東京市みどりに関するWEBアンケート調査報告書(令和4年度)

公園や農地、樹林など個別にみどりに対する意見や、人材や資金確保の仕組みなどに対する意見が寄せられている。

## 3 市政の動き

- 市政全体の大きな方向性として以下のようなものがある。

### ■健康まちづくり (「健康都市宣言」の発出)



### ■環境意識の高まり(「ゼロカーボンシティ」宣言の発出)



### ■歴史文化や地域資源を大切にすまちづくり



西東京市文化財保存・活用計画

### ■身近な貴重なみどりの保全



下保谷四丁目特別緑地保全地区保全活用計画

西東京市農業振興計画

## 4 社会情勢の動き

- みどりを取り巻く社会全体の大きな方向性として以下のようなものがある。

### ■防災・減災に向けた社会基盤構築

- 流域治水…  
集水域(雨水が河川に流入する地域)から氾濫域(河川等の氾濫により浸水が想定される地域)にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方
- グリーンインフラ…  
自然環境が有する機能を都市基盤の整備に活用する取組の推進

### ■豊かなオープンスペースの創出

- まちなかウォークブル…  
「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指し、市町村や民間事業者等による取組や、産学官等の多様な主体が連携する取組を推進
- 公園の規制緩和…  
P-PFI 制度、公園協議会制度創設等、民間活力による整備・管理・活用の仕組みが整備
- ユニバーサルな空間づくり…  
都市公園の移動等円滑化整備ガイドラインの改訂(改正バリアフリー法への対応)や、インクルーシブ公園の整備

### ■持続可能なまちづくり

- SDGs…  
2030年に向けた17の持続可能な開発目標(SDGs)が国際的に合意。
- デジタル化社会…  
デジタル技術を活用し、行政手続等の利便性の向上や行政運営の簡素化・効率化を図る取組が推進
- ウェル・ビーイング…  
「ウェル・ビーイング」とは、個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。人口減少が進む一方で、技術革新が著しいなかで、暮らしの質と満足度を高めていくための社会のあり方を模索

# みどりのまちづくりの将来像

## 4つの背景

### 西東京市の特徴あるみどりの継承

- 西東京市に暮らす人々の関わりの中で西東京市の多様なみどりが育まれている。

### 市民の「みどりへの期待と想い」の実現

- 多くの市民が、みどりの存在を意識。
- みどりの役割として「防災」や「まちの魅力向上」につながる施策への期待。
- 公園の活用についてのニーズ。

### 市政「健康まちづくり」「環境都市」「貴重な資源としてのみどり」の推進

- 健康まちづくり（「健康都市宣言」の発出）
- 高い環境意識（「ゼロカーボンシティ」宣言の発出）
- 歴史文化や地域資源を大切にすまちづくり（文化財や地域資源等の保存・活用）
- 身近な貴重なみどりの保全（屋敷林・都市農地等の保全）

### みどりの持つ多面的機能の発揮による社会変化への対応

- 防災・減災に向けた社会基盤構築（流域治水/グリーンインフラの推進）
- 豊かなオープンスペースの創出（まちなかウォークブルの推進/公園の規制緩和/ユニバーサルな空間づくり）
- 持続可能なまちづくり（SDGs/デジタル化社会/ウェル・ビーイング）

## みどりの将来都市像「みどりとひとが共に豊かに生きるまち 西東京」

西東京市の特徴あるみどりを継承しながら、保全・創出されることで、魅力あるみどりに多くの人に関わり、人々がまちなかでみどりに触れる機会が増え、生活や心身が豊かになっている。みどりが多くの人の手で、地域や社会課題の解決のために活かされることで、暮らしの舞台となるまち全体も健康になり、西東京市の特徴あるみどりがさらに磨かれる「人とみどりが暮らしを共に支えあうことにより、豊かなみどりが育まれる好循環が生まれる姿」を目指す。

### [本市におけるみどりとひとが生み出す好循環]

- 西東京市の歴史や文化を伝えるみどりが市民の手により大切にされている
- 市民が自分たちのまちのみどりに誇りを持っている



武蔵野の原風景 / 歴史文化財 / 農の景観 / 開発地のみどり等の継承

西東京市の特徴あるみどりが豊かに育まれている

- 市民自らが身近な場所でみどりを育てている
- みどりを育むことで、多様なかかわりやコミュニティが生まれている

さまざまなひとが、さまざまな目的でみどりを舞台に活動し、多面的に機能するまちの基盤を構成



まちづくりの様々な分野でみどりが活かされ「健康のまち」になっている



みどりを支えたいと思う人が増え、市民みんなが緑と関わっている



みどりへの想いが強い、ボランティア団体/みどりに関わる事業者/みどり公園課等が協働し、みどりのまちづくりのネットワークを形成

- 武蔵野台地を潤す水源が保全され、水循環が健全になっている
- 流域の雨水貯留・涵養機能が適切に働き、回復力のあるまちとなっている
- 生態系ネットワークが形成され様々な生き物が暮らしている
- みどりがもたらす緑陰や風の道がヒートアイランド現象を緩和し、歩きやすいまちなかである
- 西東京市の特徴あるみどりが育まれ、魅力に惹きつけられたひとが集まり、住み続けている

みどりとひとが共に豊かに生きるまち 西東京

みどりとひとが関わりあうことで好循環が生まれている

みどりに触れることで、ひとびとの心身が豊か（健康）になっている

一般の市民・団体・事業者/庁内のその他部署等がみどりに触れ、ネットワークにつながり、豊かな暮らしを享受



- 身近な公園や緑地が多くあり、市民が日常的にみどりと関わる環境がある
- さまざまな人々が思い思いの形でみどりに触れ、楽しく暮らしている
- 地元の野菜がある食生活を楽しんでいる

## 将来像の実現のために施策で目指す方向性

将来像の実現に向けて、次の3つ方向性のもと施策を推進していく。

### 必要量のみどりを最適な配置で確保するみどりのまちづくり

都市化の進展や財源縮小などにより、みどりの確保が難しくなっていく中で、限られた量を最適な配置に誘導していくための施策に取り組んでいく。

### みどりが存在価値だけでなく、多面的な機能を発揮しているみどりのまちづくり

みどりの量的確保が難しい中で、質の向上によりみどりの価値を上げていくことが重要である。みどりが存在するだけでなく多面的機能を発揮し、まちづくりの重要な資源として機能させるべく施策に取り組んでいく。

### 子どもたちをはじめ、市民・事業者・大学・行政等が連携し、協働で取り組むみどりのまちづくり

多くのステークホルダーがまちで暮らしているなかで、協働・協調してみどりのまちづくりに取り組むべく、施策に取り組んでいく。

## みどりの配置方針

みどりのまちづくりの方向性に向けて施策に取り組んでいく前提として、みどりの機能別に配置方針を据える。



## 目標指標の案

将来像に向けた達成状況及び施策全体の成果を測るに資する数値的な目標指標を以下のように設定する。

- ✓ 防災や環境面でみどりの整備が重要であるエリアにおける緑被率・みどり率  
※緑被率調査  
《設定理由》…重要なエリアでとくにみどりの環境を整えることが必要であるため
- ✓ レクリエーションの場となるオープンスペースの面積  
※各種データベース  
《設定理由》…市民がみどりに親しむ環境のベースとなる量が重要であるため
- ✓ 保育施設周辺における身近な公園の空白地区の解消（空白地区の割合 0%）  
※GIS計測  
《設定理由》…とくにみどりを必要とする市民の近くに、みどりが整っていることが重要なため
- ✓ みどりのまちづくりにおける市民の活動量  
※公園管理協力会員等のボランティアの総人数  
《設定理由》…持続的なみどりのまちづくりに向け、協働の体制づくりが重要なため

# みどりのまちづくりの施策体系（案）



**みどりの将来都市像**  
みどりとひとが共に豊かに生きるまち 西東京

**将来像の実現のために施策で目指す方向性**

- ◎ 必要量のみどりを最適な配置で確保するみどりのまちづくり
- ◎ みどりが存在価値だけでなく、多面的な機能を発揮しているみどりのまちづくり
- ◎ 子どもたちをはじめ、市民・事業者・大学・行政等が連携し、協働で取り組むみどりのまちづくり

- 配置方針**
- 防災・減災のみどり
  - 環境のみどり
  - 景観・歴史文化のみどり
  - 生活（健康/レクリエーション/ウォークアブル）のみどり

**目標指標の案**

- ✓ 防災や環境面でみどりの整備が重要であるエリアにおける緑被率・みどり率
- ✓ レクリエーションの場となるオープンスペースの面積
- ✓ 保育施設周辺における身近な公園の空白地区の解消（空白地区の割合0%）
- ✓ みどりのまちづくりにおける市民の活動量 等

適正な量と質を備えたみどりの形成に向けた、持続的なみどりのまちづくりのマネジメント

- **A みどりを守り、創る**
  - A-1 みどりの量の確保**
    - 公共地のみどりを引き続き、整備・管理
    - 民有地のみどりを減らさない&増やすための支援
    - 有機的なみどりのネットワーク構築
    - 公園的機能を有する空間による補完
  - A-2 みどりの質の向上**
    - みどりの多面的機能の発揮
    - 活用しやすいみどりの創出・誘導
    - 生物多様性の確保・保全
    - 風土や歴史など地域の成り立ちを踏まえた特徴あるみどりの継承と活用
    - 社会・地域課題の解決やまちの魅力アップにつながるみどりの活用
- **B みどりを支える仕組みづくり**
  - B-1 みどりのまちづくりを支える体制構築**
    - みどりの価値の評価分析と発信、啓発
    - 行政・市民・地域・企業の連携の拡充
    - 既存の担い手の支援、新たな担い手の発掘
    - 市民が自分事として関心を持つためのきっかけ作り
    - みどりを活用しやすい仕組みの構築
    - 管理不足が今後懸念されるみどりへのアプローチ
  - B-2 みどりのまちづくりを支える財源確保**
    - 民間活力の活用
    - 多様な資金調達の方策の可能性の検討
    - デジタル技術によるコスト低減

- 1 みどりをまもる**  
農地や屋敷林、雑木林など武蔵野の原風景を支える貴重なみどりを後世へ継承していくために保全を図ります。
- 2 みどりを整える**  
公園や緑地、街路樹などこれまでにつくられてきたみどりについて、必要に応じて整え直します。
- 3 みどりをつくる**  
みどりが不足している地域や防災面や環境面でさらに充実させることが求められる場所などにおいてみどりをつくっていきます。
- 4 みどりを活かす**  
継承されてきたみどりや新しく創出されたみどりについて、まちの魅力向上につながるように活かしていきます。
- 5 みどりを伝える**  
みどりの機能や価値について啓発し、みどりを支える人の輪の拡大を図ります。

- 屋敷林・雑木林・文化財等、市の特徴あるみどりの保全
  - ▶ 特別緑地保全地区・緑地保全地域の活用/文化財の指定/保存樹木・保存樹林・保全山林・保存生垣の指定 等
- 都市農地の保全
  - ▶ 生産緑地・特定生産緑地制度の活用/援農ボランティアとの連携/農地貸借の促進 等
- 生態系の保全・再生
  - ▶ 市民協働での生態系の調査・観測/学校ビオトープの維持管理/在来種を活用した緑化の推進 等
- 市民協働による公園緑地の維持管理
  - ▶ 指定管理者制度の活用・拡充/ボランティア団体との連携 等
- 老朽化した公園緑地の再生
  - ▶ 老朽化した公園の再整備/公園機能の再編 等
- 街路樹・植栽の再生
  - ▶ 地域特性に応じた樹種選定/街路樹・植栽の適切な維持管理等
- みどりのネットワークの形成
  - ▶ 街路樹網の形成/民有地のみどりのネットワーク形成支援 等
- 公共施設におけるみどりの創出
  - ▶ 学校の芝生化/公共施設の壁面緑化 等
- 民地におけるみどりの創出
  - ▶ 開発指導における緑化推進/生垣助成 等
- 防災力を高めるためのみどりの創出
  - ▶ グリーンインフラの整備促進 等
- 環境や生態系等に配慮したみどりの創出
  - ▶ 公有地における樹木の樹冠の生育・屋上壁面緑化の促進/在来種を活用した緑化の推進 等
- 公共のみどりの多面的機能の活用推進
  - ▶ 小規模公園の活用/河川空間の活用/公園協議会の充実 等
- 民地のみどりの活用促進
  - ▶ 屋敷林の活用/市民農園・体験農園の活用 等
- みどりを活かした良好な景観の形成
  - ▶ 拠点施設周辺におけるみどりを活かした景観形成 等
- みどりを活かした循環型社会の構築
  - ▶ せん定枝・草・落ち葉の堆肥化 等
- みどりのまちづくりの活動の啓発
  - ▶ ボランティア団体の活動支援・育成/みどりのまちづくりを啓発する企画・イベントの実施/学校教育との連携 等
- みどりのまちづくりを進める手法の周知
  - ▶ 市民が活用できる各種制度の発信 等

- **協働体制の構築**
    - ◇ 行政間の連携（国・都・市）
    - ◇ 行政内の連携（部署横断連携）
    - ◇ 産官学民の連携（市民・事業者・市・大学）
    - ◇ 民民の連携（事業者・市民・団体）
  - **財源の確保**
    - ◇ 民間との連携による効率的な事業の運営
    - ◇ みどりの基金やクラウドファンディング、ネーミングライツ、国・都の補助金等、多様な財源調達
    - ◇ デジタル技術の活用による効率的な施策の実施
- ※西東京市公式LINEによる通報システム

# みどりの配置方針 — 防災・減災 —

## A 防災・減災のみどりの配置の考え方

### ■水害対策のみどりの配置

○市内のみならず、下流域の市町での外水氾濫に対する防災・減災（流域治水）の視点から、台地面（盛土・切土等の人口造成地を除く）では雨水浸透・雨水一時貯留を助けるみどりの保全・創出を図り、河川または暗渠沿いの谷底低地では、溢水を受け止めるためのみどりを保全・創出する。

○内水氾濫の視点からは、水の集まりやすい窪地や道路沿いに、雨水の一時貯留を助けるみどりを配置する。

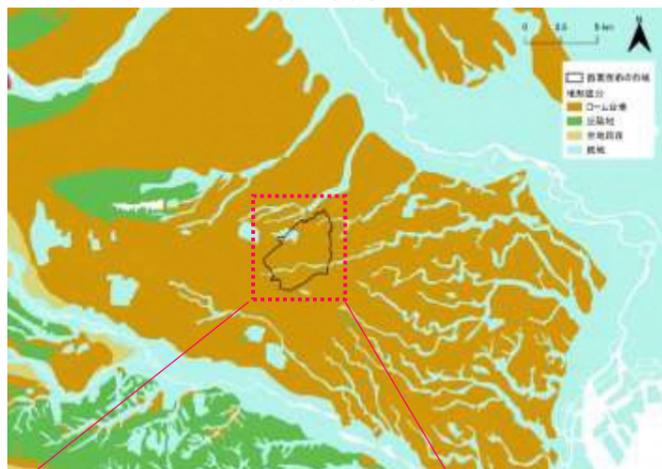
### ■火災対策のみどりの配置

○街路樹ネットワークの構築、また、住宅地での緑化を進めることで、延焼防止帯としてのみどりを配置する。

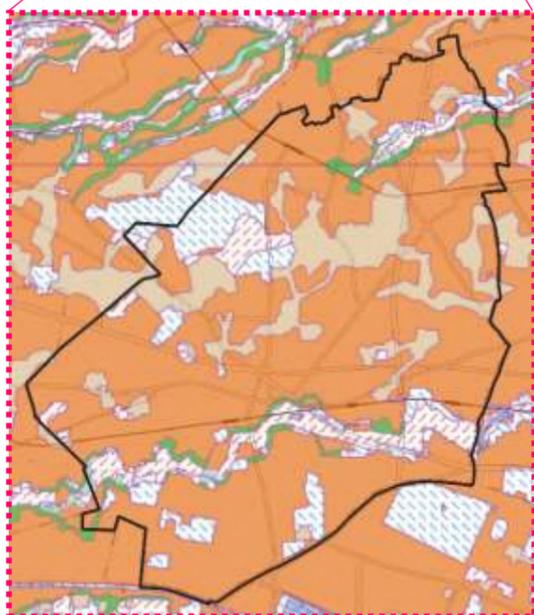
### ■災害全般に対応するみどりの配置

○災害時の一時避難場所となるオープンスペースとして、学校用地や都市公園のみどりを確保する。

土地分類基本調査（20万分の1）

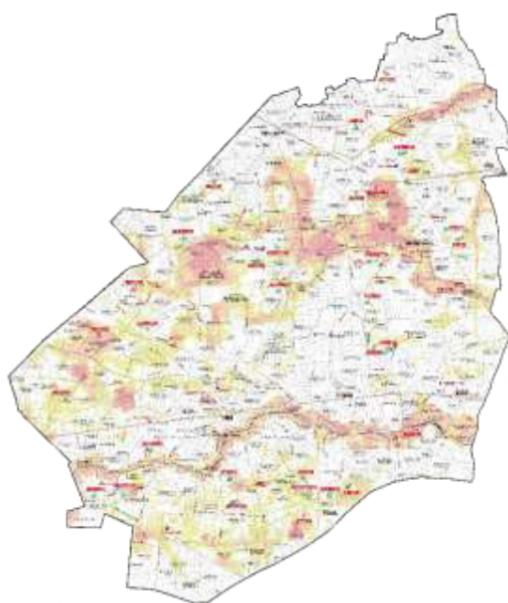


土地条件図



凡例	配色	分類項目	説明
山地斜面等	緑色	山地・丘陵または前地の傾斜地	
更新世丘陵	茶色	約1万年前より古い時代に形成された谷地や丘陵	
凹地・窪み谷	茶色	凸地・丘陵や傾斜地など谷間に形成された窪み・凹地や窪み谷。窪地に雨水が溜まりやすい。	
谷地	茶色	河川の谷間に形成された平坦な土地	
切土地	茶色	山地などの急傾斜地のうち、切取りによる平坦地や傾斜地	
盛土地・埋立地	茶色	窪地に土を盛って造成した平坦地や、埋立を施した平坦地	

浸水ハザードマップ



浸水深の目安	浸水深	被害状況
5.0m以上	5.0m以上	浸水が深刻な被害をもたらす
3.0-5.0m	3.0m	浸水が深刻な被害をもたらす
1.0-3.0m	1.0m	浸水が深刻な被害をもたらす
0.5-1.0m	0.5m	浸水が深刻な被害をもたらす
0.1-0.5m	0.1m	浸水が深刻な被害をもたらす

西東京市浸水ハザードマップ（令和4年8月改訂）

次期都市計画マスタープラン素案 土地利用方針図



道路の緑化状況



—配置方針図（防災・減災）—



[ベース図 凡例]

裸地・人口被覆面	緑色の点線	市周辺の大きな緑地
原野・草地	緑色の実線	河川
樹林	緑色の斜線	暗渠
雨水浸透を助けるみどりの創出・配置	緑色の点線	水面・水路
雨水一時貯留を助けるみどりの創出・配置	緑色の点線	農用地
街路樹ネットワークの構築	緑色の点線	道路
延焼防止帯・一時避難場所としてのみどりの保全・創出	緑色の点線	鉄道
避難所等機能を有するみどり	緑色の点線	

[配置方針図（防災・減災）凡例]

雨水浸透を助けるみどりの創出・配置	緑色の点線
雨水一時貯留を助けるみどりの創出・配置	緑色の点線
街路樹ネットワークの構築	緑色の点線
延焼防止帯・一時避難場所としてのみどりの保全・創出	緑色の点線
避難所等機能を有するみどり	緑色の点線

# みどりの配置方針 — 環境 —

## B 環境のみどりの配置の考え方

### ■生態系保全のみどりの配置

- 流域ごとにみどりの環境は異なることから、生態系の保全のために、河川（暗渠）の流域ごとにみどりの質や連続性を確保する。
- 市内のまとまったみどりを保全し、それらをつなぐような中継ぎのみどりを創出する。

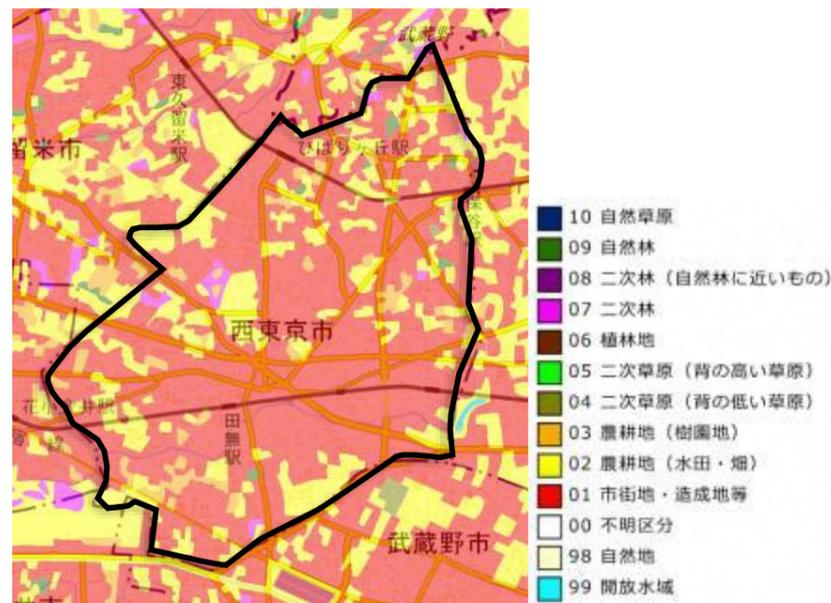
### ■水循環を健全にするみどりの配置

- 本市が位置する台地面は武蔵野台地内の湧水の集水域であることから、台地では雨水浸透能の高いみどりを優先的に保全、配置する。

### ■温暖化をみずえたみどりの配置

- ヒートアイランド対策として、樹冠投影やみどりの育つ土壌による遮熱効果や微気候調節の機能を考慮し、市内のまとまったみどりを保全する。

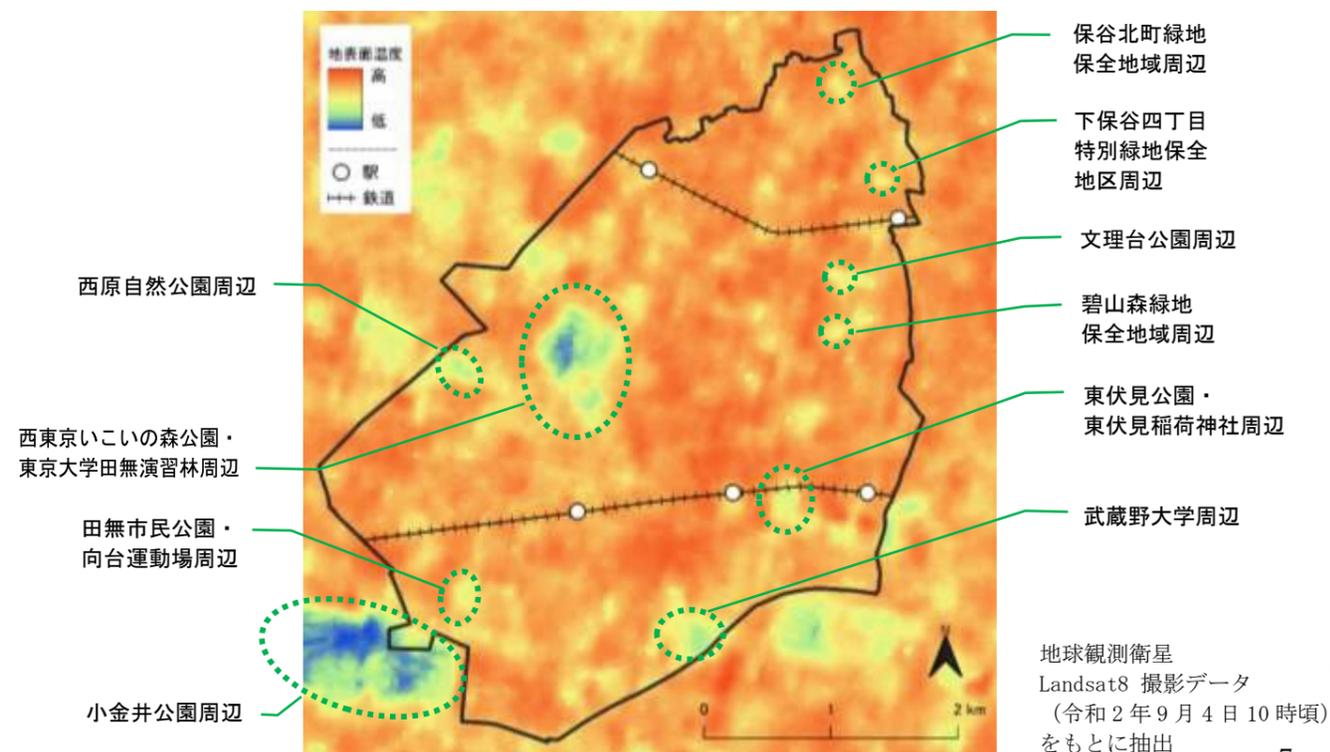
植生調査(1/5万)第2~5回 自然度区分図



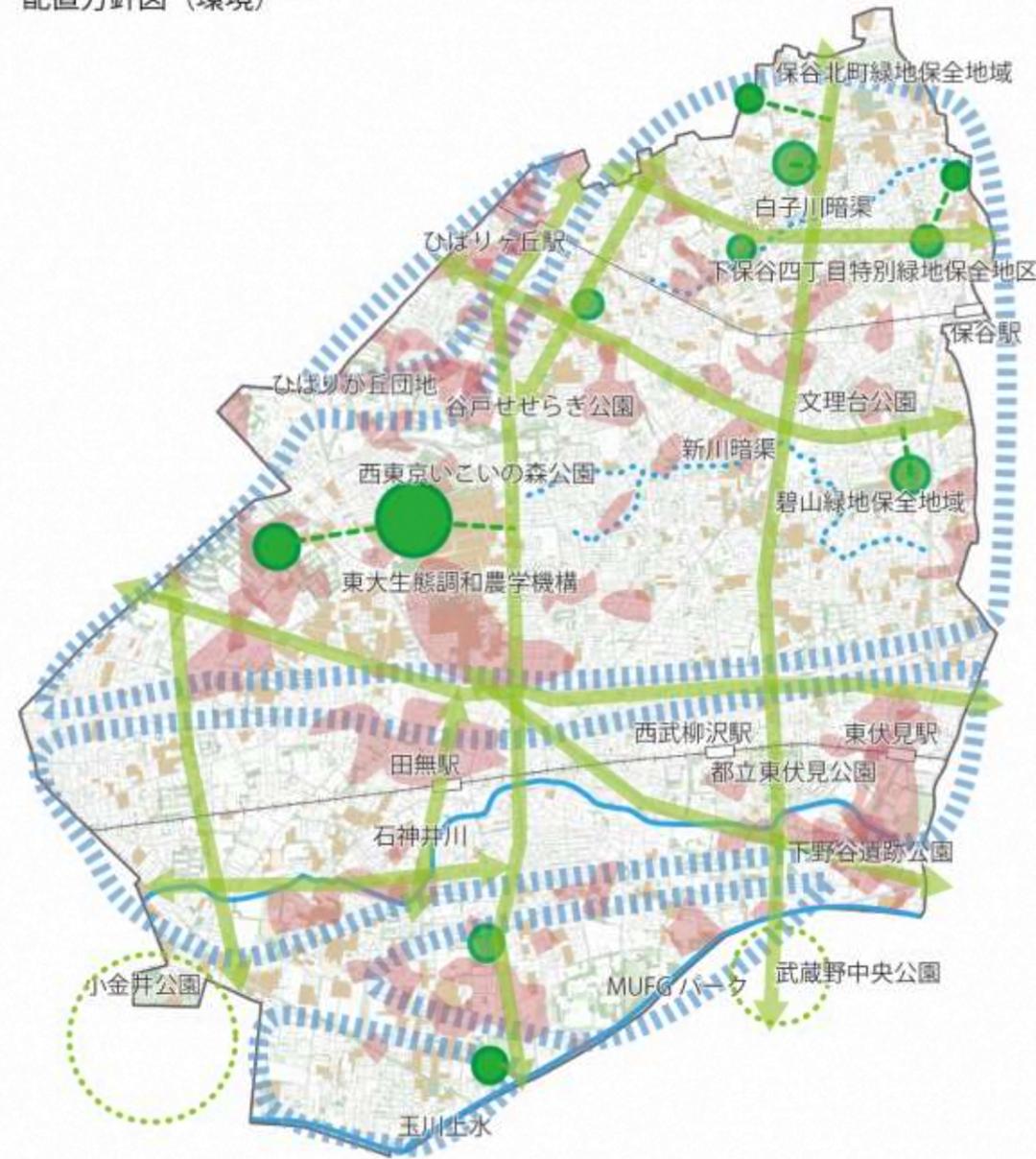
道路の緑化状況



地表面温度



—配置方針図（環境）—



- [ベース図 凡例]
- 裸地・人口被覆面
  - 原野・草地
  - 樹林
  - 市周辺の大きな緑地
  - 河川
  - 暗渠
  - 水面・水路
  - 農用地
  - 道路
  - 鉄道

- [配置方針図（環境） 凡例]
- 流域のまとまり
  - 生態系ネットワークの中心軸（街路樹のつながり）
  - 生態系ネットワークの副軸（街路樹のつながりを補充）
  - 生態系ネットワークの中心拠点（自然林・自然林に近いみどり）
  - 生態系ネットワークの副拠点（農地・公園・緑の多い住宅地）

# みどりの配置方針 — 景観・歴史文化 —

## C 景観/歴史・文化のみどりの配置の考え方

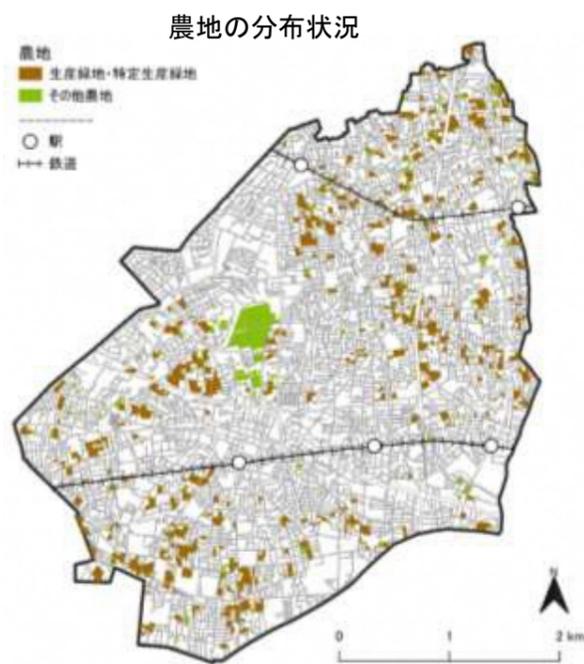
### ■西東京市の特徴ある景観を構成するみどりの配置

○市内に残る武蔵野の原風景の景観、農の景観をつくりだすみどりを保全し、それらの特徴あるみどり引き立つように、周辺のみどりとのつながりを保全・創出する。

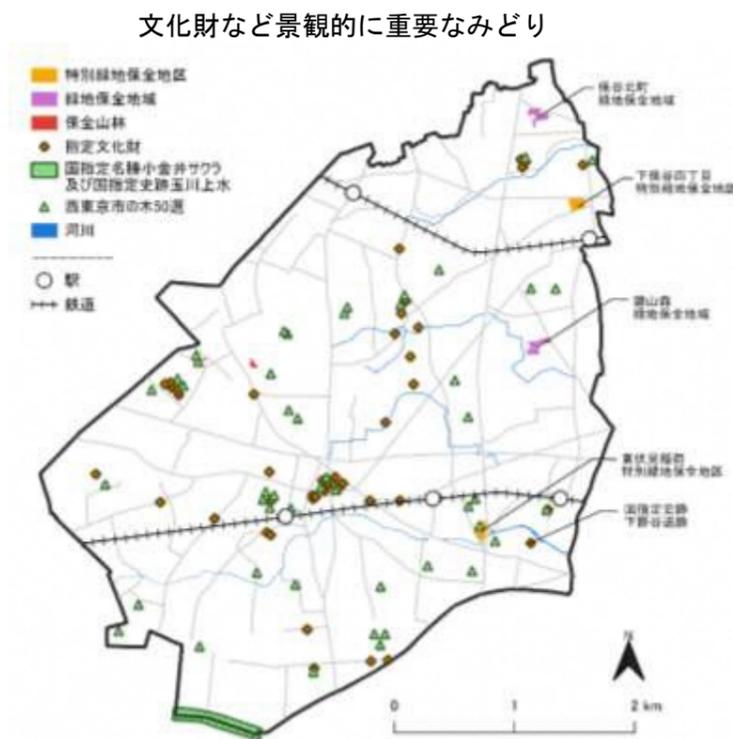
○みどりの少ない地域において、西東京市の特徴的なみどりとのつながりに配慮し、景観の向上に資するみどりを創出する。

### ■市民の誇りとなる歴史文化を表すみどりの配置

○現在の西東京市の礎となっている歴史や文化を表出するみどりを保全する。

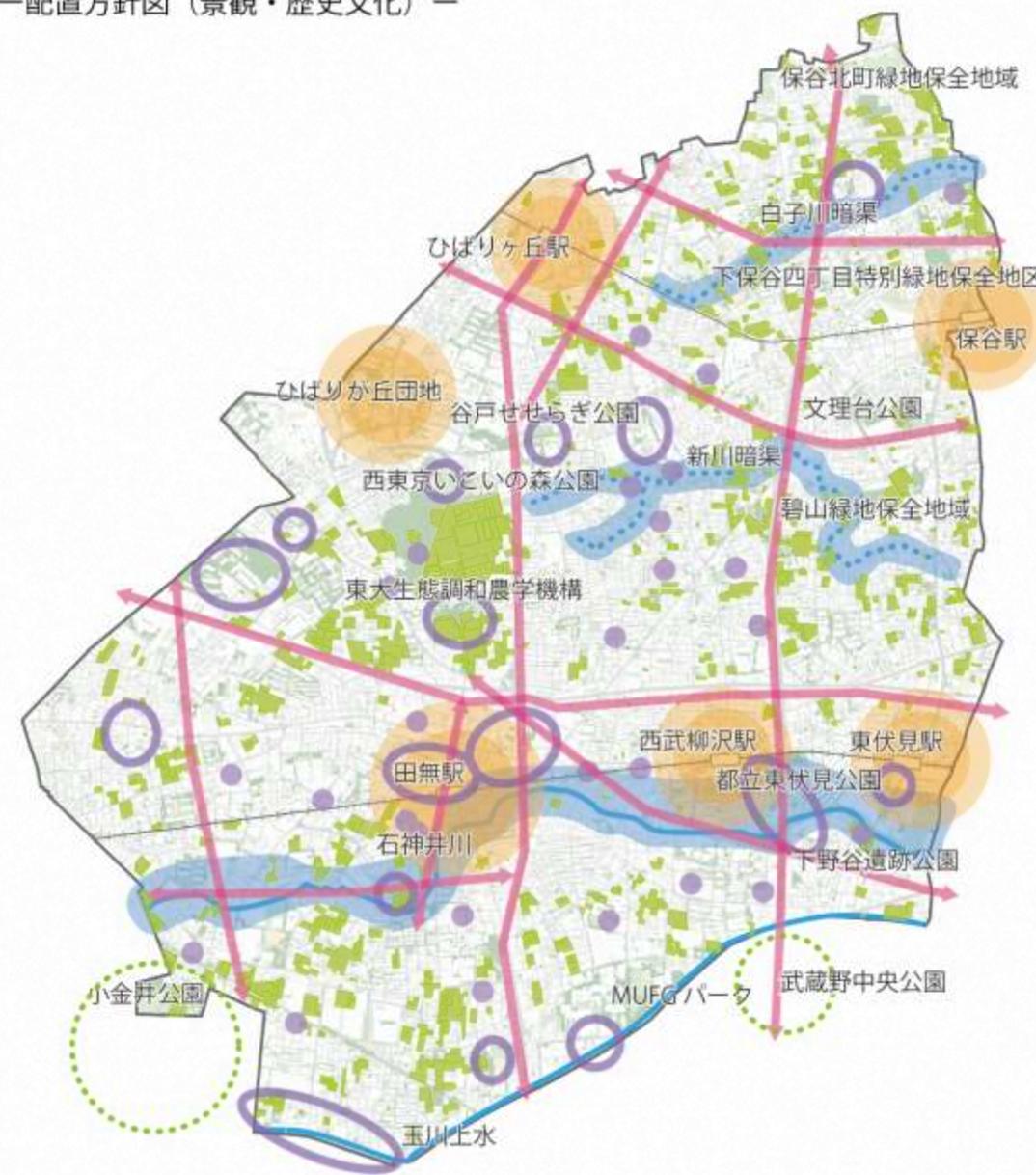


農地の分布状況  
西東京市都市計画課  
農林水産省 筆ポリゴン (令和4年9月取得データ)  
基盤地図情報



文化財など景観的に重要なみどり

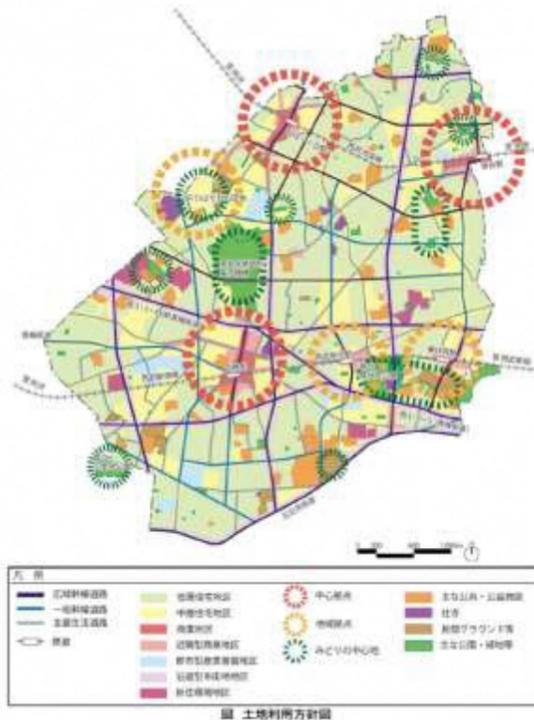
## —配置方針図 (景観・歴史文化) —



- [ベース図 凡例]
- 裸地・人口被覆面
  - 原野・草地
  - 樹林
  - 市周辺の大きな緑地
  - 河川
  - 暗渠
  - 水面・水路
  - 農用地
  - 道路
  - 鉄道

- [配置方針図 (景観・歴史文化) 凡例]
- 文化資源としてのみどりの保全
  - 農の景観を構成するみどりの保全
  - 水辺の景観を構成するみどりの保全
  - くらしの拠点の景観を構成するみどりの保全・創出

## 次期都市計画マスタープラン素案 土地利用方針図



## 道路の緑化状況



# みどりの配置方針 — 生活 —

## D 生活（健康/レクリエーション/ウォークブル）のみどりの配置の考え方

### ■市民の憩いの場のみどりの配置

- 市民が日頃から大切にしている緑地の磨きあげ、充実を図る。
- 子どもたちをはじめ市民が外に出て、みどりに気軽に関わることができる機会を作るため、生活圏にみどりを配置する。

### ■歩きたくなるみどりの配置

- ヒートアイランド現象対策の観点から、人の動線に沿ってみどりを配置し、快適な歩行者空間をつくる。
- 駅周辺の商業地や人が集まる文化資源としてのみどりを保全する。

次期都市計画マスタープラン素案  
土地利用方針図



公園誘致圏と  
市民農園・農業体験農園及び保育園等

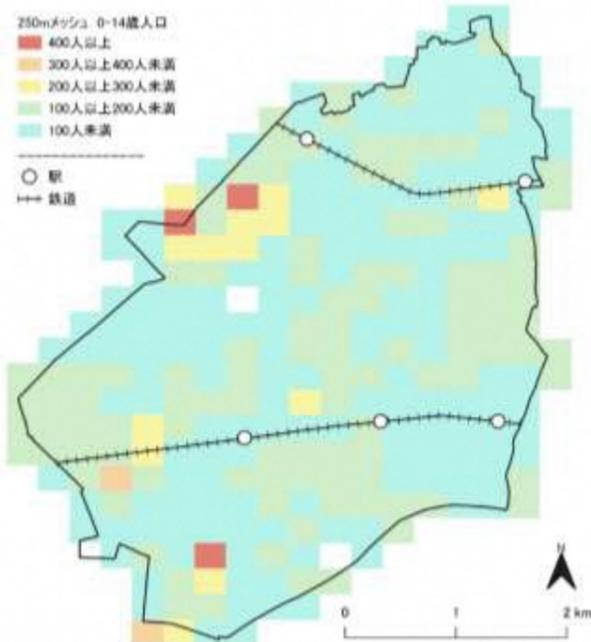


みどりの散策マップ



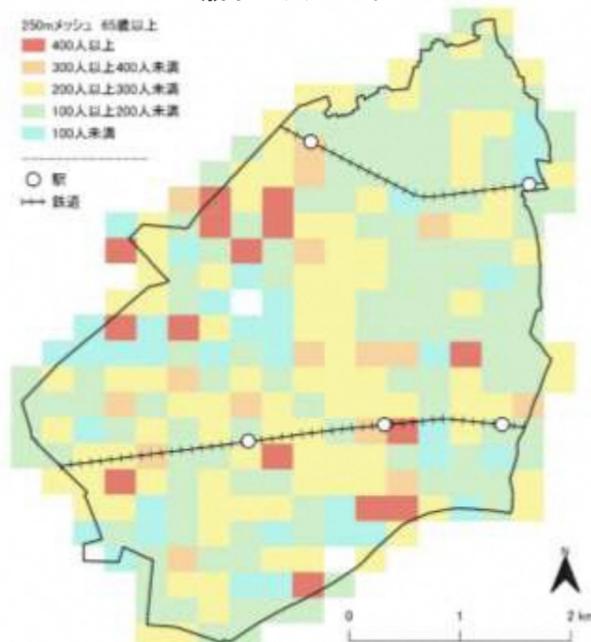
西東京市

14歳以下人口メッシュ



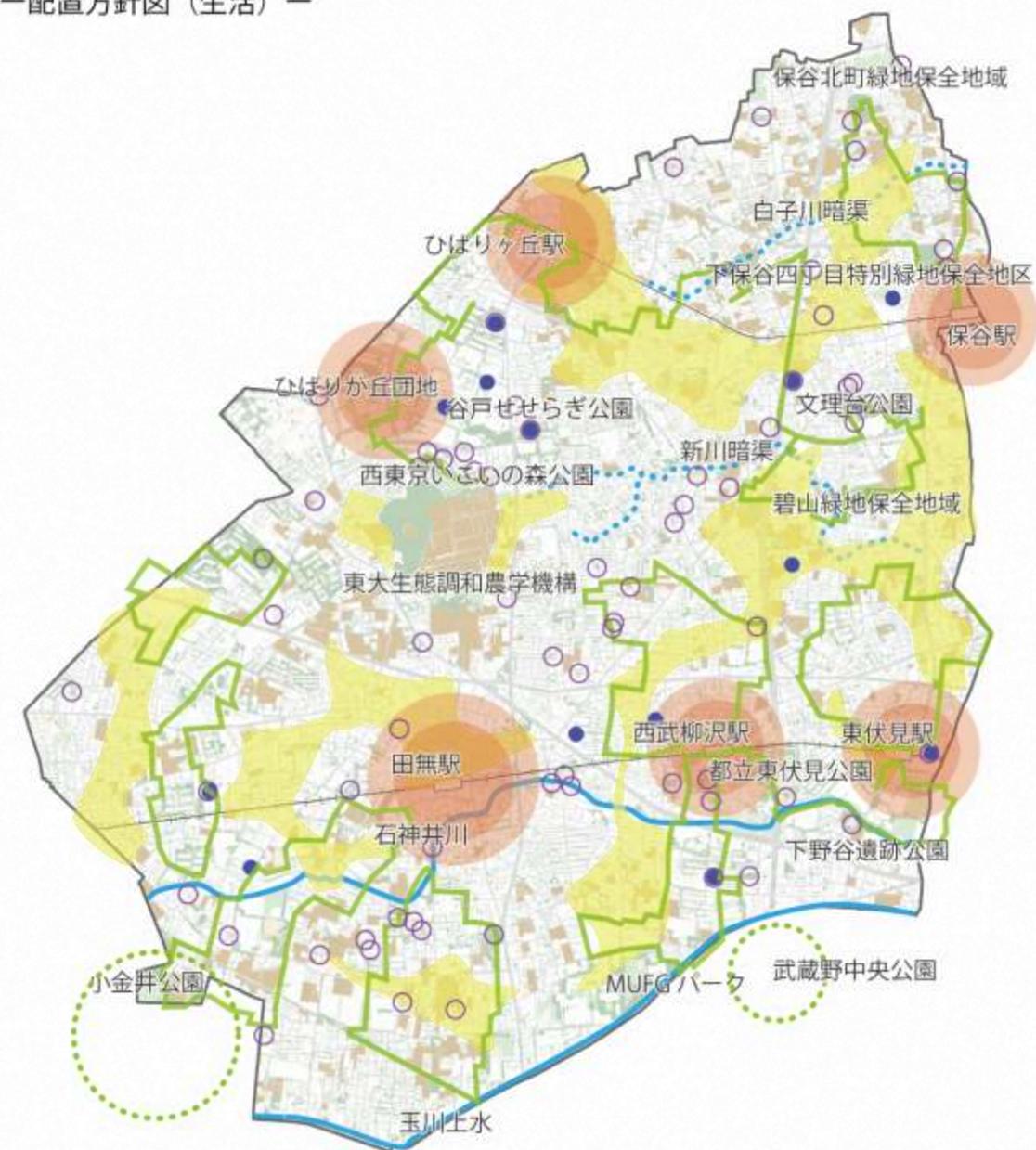
令和2年度国勢調査

65歳以上人口メッシュ



令和2年度国勢調査

—配置方針図（生活）—



- [ベース図 凡例]
- 裸地・人口被覆面
  - 原野・草地
  - 樹林
  - 市周辺の大きな緑地
  - 河川
  - 暗渠
  - 水面・水路
  - 農用地
  - 道路
  - 鉄道

- [配置方針図（生活） 凡例]
- 子どもや高齢者をターゲットとした都市公園の機能の充実
  - 身近なみどりの創出
  - ひとびとが集まるみどりの創出・保全
  - 歩きたくなるみどりの動線（みどりの散策マップ）
  - 市民活動が盛んなみどりの育成

## 地域区分について

地域区分…より即地的・具体的なみどりのまちづくり方針を示す場合に設定する。設定にあたっては以下の視点を考慮する。

- (1) 行政からみた計画の使いやすさ … 関連計画と整合させることで横断的な事業推進がしやすく、行政にとって扱いやすい地域区分となる。
- (2) 市民からみたわかりやすさ … 市民にとって身近なコミュニティ単位の区分と合わせることで、市民にとってわかりやすい地域区分となる。
- (3) みどり環境に配慮した政策実現 … 地形・水系・植生などを考慮した区分とすることで、みどりの環境にとって自然な地域区分となる。

現行計画の地域区分

※当時の都市計画マスタープラン  
の10地域区分を踏襲

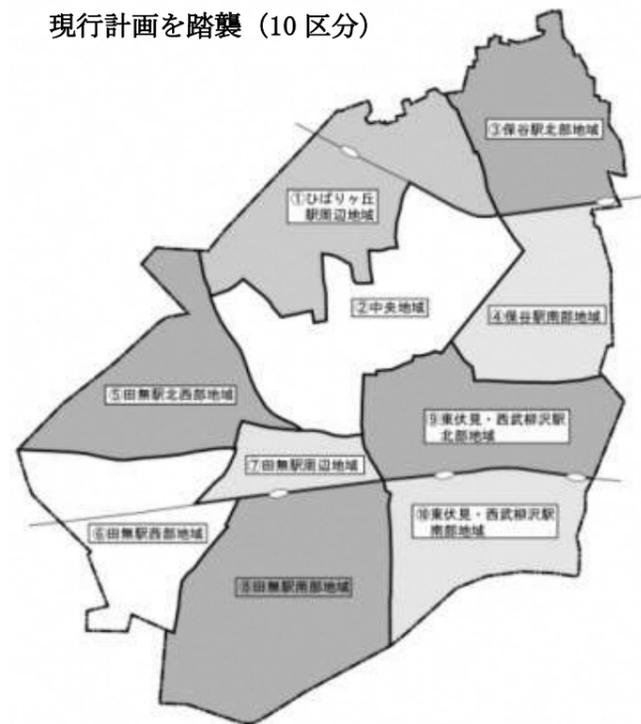


改定中の都市計画マスタープランに合わせる

※地域区分なし

次期みどりの基本計画の地域区分案

現行計画を踏襲 (10区分)



改定中の都市計画マスタープランに合わせる

※地域区分なし

改定中の総合計画の考え方を  
基に区分する  
(中学校区・9区分)



国土数値情報 (R3)

流域で分ける (参考)



DamMaps: 川と流域地図より